

## 令和5年度 第1回秋田県水と緑の森づくり基金運営委員会議事録（案）

日時：令和5年8月2日（水）13：30～16：30

場所：秋田県林業研究研修センター及び現地

### ○秋田県水と緑の森づくり基金運営委員会委員

- 加賀谷 均 （加賀谷均税理士事務所 税理士）  
笠井 みち子 （秋田県消費者協会 監事）  
川越 政美 （公募委員）  
熊谷 嘉隆 （公立大学法人国際教養大学 理事・副学長）  
佐藤 充 （NPO 法人 環境あきた県民フォーラム 理事長）  
篠木 浩子 （秋田市立飯島小学校 校長）  
松本 昭広 （一般社団法人 秋田県造園協会 会長）  
村岡 典子 （公募委員）

### ○県側

- 村上 幸一郎 （農林水産部森林技監）  
永井 秀樹 （農林水産部森林資源造成課長）  
真崎 博之 （農林水産部森林環境保全課長）  
野田 新悦 （総務部税務課長）

### 議 題

- (1) 秋田県水と緑の森づくり税事業第4期5箇年計画について
- (2) 令和5年度秋田県水と緑の森づくり税事業について
- (3) 秋田県水と緑の森づくり基金の状況について

### 4 その他

秋田県水と緑の森づくり税事業広報活動について

### 5 視察

- (1) 森や木とのふれあい空間整備事業  
（ふれあいの森整備事業）「悠紀の国五城目自然観察園」
- (2) 安全・安心な森整備事業  
（マツ林・ナラ林等景観向上事業）「大潟村」

## 1 開会（今川チームリーダー）

開会を宣言

## 2 あいさつ（村上森林技監）

本日は、委員の皆様には、お忙しいところ、また暑い中「秋田県水と緑の森づくり基金運営委員会」に御出席いただき、厚くお礼を申し上げます。

また、皆様には、日頃より、県政の推進にあたり、格別のご支援をいただいております、この場をお借りし、感謝を申し上げます。

はじめに、7月14日から大雨でございますが、秋田市や男鹿市などで観測史上最大の降水量となるなど、広い範囲で記録的な豪雨に見舞われました。

林業関係では、秋田市添川のさとみ温泉近くで大規模な土砂崩れが発生したり、国道7号線でも林地が崩壊したり、また、林道施設でも被害が発生しており、これから木材生産を始めようとする方への影響が出てくると考えています。

県として被災地の復旧については簡単にできることではありませんが、国の予算を活用しながら取り組んでいきたいと考えていますし、林道被害につきましても木材生産に影響が無いように優先順を付けながら、事業を進めていきたいと考えております。

秋田県水と緑の森づくり事業につきましては、今年度事業も順調に進んでいるわけですが、ソフト事業の一番大きな「森林祭」が由利本荘市で7月15日に開催予定でありましたが、警報級の雨の予報もございましたので、苦渋の判断でありましたが中止の判断をさせていただきました。事前に開催に向けてのPRもしていたことから、非常に残念な結果になってしまいました。

本日の委員会でございますが、第4期5箇年計画の説明やこれまで森づくり税事業で実施した公園や今後実施する箇所の視察行いますので、森づくり税事業の取り組みについて御確認いただきたいと思っております。

皆様から多くの御意見や御提案をいただくことで、この税事業がより良くなっていくと考えていますので、忌憚のない御意見をお願いして、あいさつといたします。

本日は、どうぞよろしくお願い致します。

## 3 委員会の成立（今川チームリーダー）

委員10名のうち8名の出席により委員会が成立していることを報告。

## 4 日程等の説明（今川チームリーダー）

## 5 熊谷会長あいさつ

連日の猛暑の中ご参集いただきまして、ありがとうございます。

今回初めての委員もいらっしゃいますので、一言あいさつをさせていただきます。

この委員会は、秋田県の大切な森をしっかりと育て、次世代に引き継ぐことを検討するための委員会です。毎回、活発な質問やコメント・提案があり、しっかりと意見を共有しながら委員会を進めて参りたいと思っておりますのでよろしくお願い致します。

本日は、議題が3件、その後視察が予定されていますので、会議のスムーズな進行に御協力お願い

いします。

また、議事の内容については毎回県のHPに掲載されますので、公開について御承知願います。

## 6 議題

資料1 秋田県水と緑の森づくり税事業第4期5箇年計画について

資料2 令和5年度秋田県水と緑の森づくり税事業について

資料3 秋田県水と緑の森づくり基金の状況について

事務局が一括して説明

### 熊谷会長

事務局から説明があったように、昨年度まで第1期から第3期まで計画を基に様々な事業を実施してきました。それを検証しながら、今回の第4期5箇年計画ができました。例年ハード事業8割、ソフト事業2割の枠組みで実施されております。

今日の会議は時間の制約もありますので、2つほど質問を受けて、残りは視察に向かうバスで意見交換をしていきたいと思っております。初めての方もいらっしゃると思いますので、事業計画と実際に現場でやられていることを意識して見ていただき、現場で意見交換をしていきたいと思っております。

では、大枠についての御質問を受けたいと思っておりますが、どうでしょうか。

### 佐藤委員

資料1の1ページにある税収の見込みで、令和4年度の実績をベースに5箇年の数字をあげていると思っておりますが、県内の人口は減っており、毎年1万4千~1万5千人減っているかと思っております。この減少イコール県民税納入義務者ではないと思っておりますが、個人税収の3億7千4百万はアップな数字で次第に下がってくると思っておりますので、人口の減少が続く中で随時計画をフォローしながら数字を見直し適切に対応していただければと感じました。

### 熊谷会長

ありがとうございました。

大切なご指摘です。今までも現状をしっかりと見据えながら計画をされていると思っておりますが、それに対して何かございますか。

### 事務局（春日主幹）

佐藤委員ご意見のとおりだと思いますが、計画の作成が令和3年度くらいの数字なので、見直しが必要だとすれば見直していきたいと思っております。

### 熊谷会長

正確な予測を基に計画策定する必要がありますのでどうかよろしく願います。

### 熊谷会長

私からよろしいでしょうか。資料1の2ページ目にある、「あきたの森」の公益的機能の評価額ですが、全国で60兆円を超えるくらいの金額が記載されています。これは平成13年に実施されたもので、その後も森林総合研究所等で研究されている方もいると思っておりますが、私見では、低く見積もってこれくらいの数字だと思っていて、森林の持つ公益的機能価値というのは本当に大切です。機能が4つに分けて書かれていますが、まだあるというのが我々の研究者の見立てで、それを踏まえると本当に「我が国の森」と言うのは、普段目に見えないが、我々の日常生活を支えているということを委員会の皆さんで共有したいと思っております。

その他に何かありますか。

## 川越委員

熊谷会長から公益的機能の話がありましたが、先日の豪雨災害で山崩れなどの被害が発生し、復旧については基本的に民有林を対象としている事業だと思いますが、民有林が対象となる場合、どのような事業を活用するか教えてもらいたい。

## 真崎森林環境保全課長

今回も大規模な災害がありましたが、災害で緊急性を要するもので、例えば秋田市添川や国道7号線の山腹崩壊、男鹿市では水道施設が被災し生活に大きく影響を与える災害が発生しました。このような緊急性があるものについては9月補正で予算措置して、国の補助金を活用しながら事業を進め、年度内に着手し早期の復旧を図っていきたいと考えています。

また、生活への影響が低い災害箇所については、来年度の国の事業を活用し、手当てしたいと考えています。

## 熊谷会長

よろしいでしょうか。

まだ質問があろうかと思いますが、一端会議を終了させていただきたいと思います。この後バスで移動しますので、引き続き活発な意見交換をお願いします。

## 6 現地視察

### 車内での説明（事務局 春日主幹・鼎副主幹）

- ・その他資料により、令和5年度の水と緑の森づくり税に関する広報活動を紹介。
- ・現地視察箇所の事業概要を説明。  
ふれあいの森整備事業  
マツ林・ナラ林等景観向上事業

## 7 視察箇所①ふれあいの森整備事業「悠紀の国五城目自然観察園」

説明：秋田地域振興局農林部森づくり推進課 森林整備第一班 畠山班長  
資料4により概要を説明。その後、園内を散策しながら施設の内容を説明。

## 8 視察箇所②マツ林・ナラ林等景観向上事業「大瀧村」

説明：秋田地域振興局農林部森づくり推進課 森林整備第一班 畠山班長  
資料5により概要を説明。

## 村岡委員

説明を聞いてよく理解できました。

ここでは（大瀧村）伐倒処理を実施していますが、防除はできないのか？

### 事務局（鼎副主幹）

防除としては薬剤散布があるが、大潟村は林帯幅が狭く田んぼに隣接しているため、薬剤の飛散により田んぼへの影響があり薬剤散布は難しい。

また、樹幹注入も可能であるが、費用が高額になることや効果が5年程度のため、繰り返し注入する必要があり費用面が課題である。

### 川越委員

マツクイムシのメカニズムの説明を聞いたが、マツノザイセンチュウを駆除することは可能か？

### 事務局（鼎副主幹）

マツノザイセンチュウを駆除することはできないため、薬剤の散布によりセンチュウを媒介するカミキリを駆除している。

被害をくい止めるには、メカニズムのどこかを絶たないと被害は減っていかない。

### 10 閉会（今川チームリーダー）

本日は、会議と視察大変お疲れ様でした。

次回の委員会は11月に開催する予定としております。開催日につきましては、後日調整させていただきますので、御出席をお願いいたします。

それでは、以上をもちまして、令和5年度第1回秋田県水と緑の森づくり基金運営委員会を閉会いたします。

皆様どうもありがとうございました。